

「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 2 年 5 月 7 日

事業名称		就学時健康診断等事業費【就学時健康診断実施事業】										
予算科目	款	10	教育費	項	1	教育総務費	目	3	教育指導費	事業番号	2	
事業の種別	<input type="checkbox"/> 市単独 <input type="checkbox"/> 補助対象 <input checked="" type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)											
担当部署・課長名	教育総務 課					学務 係		課長名	斎藤 謙二郎			
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。								施策番号	1 - 1			
【施策名】 学校教育の充実								総合計画書 (ページ)	31			
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。					① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)						
	小学校入学予定者					小学校入学予定者数						
	→											
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]					② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)						
2 指標の推移	健康状況を的確に把握する。					就学時健康診断受診者数						
	→											
	③ そのために何をしましたか。					③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)						
	就学予定の小学校において、内科健診等を実施する。実施にあたり、東大和市医師会と契約を交わすとともに、看護師等の臨時職員を採用し、対応している。					就学時健康診断受診対象者数						
3 経費	③					→						
4 環境変化等			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標				
				平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標				
	対象指標	①の数値	人	745	766	716						
	成果指標	②の数値	人	736	762	709						
	目 標	②の目標値	%	100	100	100						
		目標値設定の考え方 全ての小学校入学予定者が受診することがこの事業の目的である。										
	活動指標	③の数値	人	745	766	716						
	事業費(実績)	円	2,105,106	2,080,902	2,152,597	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,310,000 円 時間単価は、4,300 円 で計算してください。 【算出根拠】平成30年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)						
		一般財源	円	2,105,106	2,080,902				2,152,597			
		特定財源	円	0	0				0			
(うち受益者負担)		円	0	0	0							
所要人数(再任用以外)		人	0.2	0.2	0.2							
所要人数(再任用)		人	0.0	0.0	0.0							
職員人件費(再任用以外)		円	1,650,600	1,648,800	1,662,000							
職員人件費(再任用)	円	0	0	0								
事業費+人件費		円	3,755,706	3,729,702	3,814,597							
(1) 開始年度		不明 年度										
(2) 環境の変化		アレルギー疾患と診断される児童が増加傾向にある。										

事業名称	就学時健康診断等事業費【就学時健康診断実施事業】				
担当部署・課長名	教育総務	課	学務	係	課長名 斎藤 謙二郎

5
市民等の意見

この仕事に関して、平成31年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について

特になし。

6
市民協働

(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）

☐ 取り組んだ
☒ 取り組まない

取組手法：

【取組手法の種類】

①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成

⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ）⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）

(2)令和2年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点

特になし。

7
課題

(1)平成31年度に課題とした内容（「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題（3）を転記）

臨時職員及び看護師ともに人手不足である。特に看護師は高齢の方もいる。

(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成31年度に実施したこと。

新たに出務できる臨時職員を探した。

(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案）

雇用の形態が通常とは異なるため、会計年度任用職員として人材を確保するのが困難である。

8

施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。）

施策名： 学校教育の充実

☒ なっている ☐ 環境の変化等により成果が減少している ☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある(事業名：)

9
今後の方向性

(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など）

☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止

【取組内容】

予算的には高額となるが、看護師については、業者委託にするべきであると思う。

(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等

予算の確保。